



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和7年10月10日
第20号

去る6日（月）、大阪大学特任教授の坂口志文さんが今年のノーベル生理学・医学賞に決定！との発表がありました。体内の過剰な免疫反応を抑えるリンパ球の一種「制御性T細胞」を発見し、がんの新たな治療法の道を開いたのが受賞理由だそうです。一般人には難しい内容ですが、坂口さんの「少年時代は文学全集を読むのが好きだった」というエピソードや、子供たちへの「興味があることを大切にする。ずっと続けると、気が付いたら面白い境地に達する」というメッセージにはぐっと心をつかまれました。さらに8日（水）には、京都大学特別教授の北川進さんがノーベル化学賞に、との発表が続いています。

テレビや新聞等で日々伝えられるこうしたニュースは何よりの生きた教材です。朝の会や帰りの会等、各教室での話題に取り上げて、子供たちの視野を広げることができたらと思います。各ご家庭でも、こうしたタイムリーな話題を基にお子さんとの会話を楽しんでみてはどうでしょうか。

「継続は力なり」を強く感じた玉椿集会

6日（月）は9・10月分の玉椿集会でした。回を重ねることで低学年の子も集会のイメージをもち、マイクを使わず自分の声ではっきりと（内容を覚えて）話す力がついてきているように感じます。

また、友達の話す言葉を聞き取ろうと真剣に前を向いて聞き入る姿が見られ、素晴らしいと思いました。今回は運動会の取組から、きびきびと元気に活動していたこと（元気でやりぬく子）や自分の役割をしっかりと果たしたこと（助け合う子）の受賞が多く発表の度に、「ああ、そうだったね！」という表情でうなずいている子もいました。

最後はお楽しみの「先生のお話」です。今回は4年担任の黒坂先生の番でした。先生は突然ドイツ語で自己紹介を始めました。これには子供たちだけでなく大人も皆びっくり！聞けば、先生はこれまで約1,000日、毎日5分間ずつドイツ語の勉強を続けているとのこと。わずか5分間でも1,000×5で5,000分間。もし全く勉強しなければ1,000×0=0 この差は大きいですね。「つまり、私が伝えたいのは『継続は力なり』ということです」と、黒坂先生は子供たちに話しました。

一方、黒坂先生と言えばピアノの達人です。後半はそれに関する話でした。「私はピアノを22年間続けています。続けるために大事なことは3つあると思います。1つめは（ピアノが）好きな気持ちをもつこと

です。2つめは、途中でなかなか上達しないときが必ずやってきますが、そんな時もその壁を乗り越えて練習を続けること

です。そして3つめは、いつも感謝の気持ちをもつこと

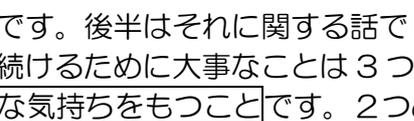
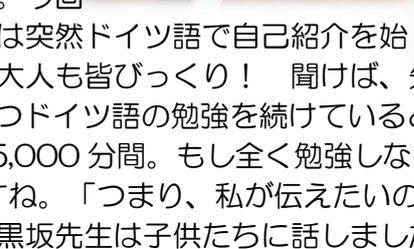
です。私は、ピアノの練習を続けさせてもらえることや、練習から帰るといつもおいしいご飯が用意してあることなどがありがたいなと思っていました。」

最後に黒坂先生は「子犬のワルツ」を演奏しました。軽やかなピアノの音色に全校がうっとりとした気持ちで聴き入りました。言語の習得もピアノも、まさに「継続は力」だと納得しました。

日頃とはひと味違う先生の一面を知れば親しみもわきます。子供にとって、いざというときに相談したり助けを求めたりできる大人が増えることにも繋がると思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()



10/9(木)学習参観

昨日5限の学習参観には多くの保護者の皆さんに参観していただきました。お家の方に見守られたり、いっしょに学習に加わってもらったりすることで、子供たちはいつも以上にはりきって学習に取り組むことができました。また、6限のPTA教養講座は、子供たちにとって命の大切さを学ぶよい機会となりました。お世話いただいたPTA役員の皆様、ありがとうございました。



シリーズ「教室におじゃまします」10月8日(水)6年国語科(書写)の巻

書写は「習字(毛筆)」ではありません。この日は、文字の大きさや配列を工夫してポスターを作る学習でした。城石先生は教科書の内容をアレンジし、「よりよい村椿小学校になるように、よびかけポスターを作ろう」という課題を投げかけました。目的意識がよりはっきりとしそうです。日頃活動している委員会に分かれて、どのようなポスターを作るかを考えました。



教科書の内容や城石先生の説明を参考にしてポスターのイメージを形にしていきます。すでに校内に掲示されているこれまでのポスターよりもよいものを目指します。

「地球温暖化って1年生には伝わらないよ。アルミ缶リサイクルがいいんじゃない？」など相手意識もあるようです。ほかにも、**「体育館のボールはけっちゃダメ！」** **「本をもっと読もう」** 等々、各委員会ならではの言葉が出ていました。あとはそれ以外の細かい情報と合わせてどのように配列するか、といったところでしょう。グループで、各自で、手書きで、あるいはPCで、と作り方は様々ですが、集中してくると自然と姿勢が前のめりになってくる子、頭を寄せ合う子が



多く、微笑ましく思いました。あともう1時間取り組むのだそうです。仕上がりが楽しみです。



<おまけのひとりごと>「継続は力なり」の額が校長室の壁面に掲げられています。昭和60~62年度に本校の校長だった金山盛雄先生の揮毫によるものです。当時、金山校長先生はこの言葉を好んで口にしておられたとのこと。学校歯科医の田中先生が以前、懐かしそうに話してくださいました。一方、本校の中庭に「継続は力なり」と刻まれた石碑もあり、そこには「贈 昭和六十一年度卒業生」の文字が…！ これも金山校長先生のお言葉と関係が深いはず、と私はみえています。詳しいことをご存じの方、ご一報を…！

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！
校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()